

おはよ



兵庫県障害児学校教職員組合（障教組）
神戸市中央区北長狭通5丁目2-10
兵庫県高等学校教職員組合会館内
TEL (078) 341-6745
全職員版 2024年度 N01



新しい年度のスタートにあたって



新年度が始まりそろそろ1か月が経とうとしていますが、相変わらずの忙しさです。新しい環境に一日も早く適応したいとみなさん頑張っておられる日々だと思いますが、「仕事」も「家庭」も、何より「自分」を大切にしていきたいです。悩みやしんどさ、時には愚痴を、「最近どう?」と職場で話せていますか? 「愚痴も磨けば要求に!!!」という合言葉(?)が組合にあります。しんどさの原因はどこにあるのか?一緒に考え、みんなの思いを束ね、働きやすい職場をつくっていききたいものです。

障教組は、「働くものと子どもを大切にできる学校を、力を合わせてつくろう」をテーマにしています。決してあきらめない「要求運動」と互いに支え合う「学習と交流」の2つを中心に、ひとり一人の願いに寄り添い、支え合う組合をめざし、元気に働ける職場、子どもも教職員も大切にできる学校を皆さんとともに、そして保護者や地域とも手をつなぎ力を合わせてつくっていききたいと思います。また寄宿舍教員、介助員、生活・学習支援員、実習教員、調理員、臨時講師など、少数職種の方の待遇改善に向けて力を合わせてとりくんでいきます。

教育のこと、子どもたちのこと、職場のこと、子育てや介護、社会のことなどなど、みなさんと一緒に考えていきましょう。今年度もよろしくお祈りします。

委員長 中西園枝(いなみ野)

開校!

4月1日、兵庫県立川西カリヨンの丘特別支援学校が開校しました。こやの里特別支援学校校区を分け、猪名川(大阪府に隣接)に小中高の子どもが通います。また、分教室が猪名川高校に設置されました。新設校は何かと大変だと思いますが、そこでも子どもたちの笑う声が響きあえばよいと思います。これによって、兵庫県立の特別支援学校は27校になりました。



川西カリヨンの丘特支
校舎写真(学校HPより)

根本的な解決にはならない!

「給特法」が50年ぶりに法改正されようとしています。残業代の代わりに、給与月額を4%上乘せしてきたのを10%以上引き上げようというものです。この案では「定額働かせ放題」と言われる長時間勤務の根本的な解決になるとは思えません。多忙に鞭打つように増える授業準備以外の業務の整理や、長年変わらない定数法を改訂して教員数を増やすなど、先に手を打てることは多くあります。

現場の声を聞いてほしい!!!

新採用・転任 ようこそ特別支援学校へ

今年度も95名の方が採用されました。加えて、小中学校や高校から転任された方、初めて講師をされる方もようこそ!心から歓迎します。特別支援学校は、障害があっても精一杯自分らしく輝こうとしている子ども達と、力いっぱい向き合い、共に成長できる素晴らしい学校です。しんどいこともあるし、何より学びが求められます。目先のノウハウだけでなく、子どもの人格形成や発達のことなど、共に学んでいきましょう。障教組は、「語り合って共に学ぶ」といういろんな機会を提供します。また仲間づくりのレクリエーションなども計画しています。どうぞご参加ください。情報は下記のグループ line に順次あげています。友だち申請お待ちしております。

月刊誌「みんなのねがい」
障害や発達が学べる。薄くて持ち歩き便利。兵庫の先輩による重症児教育の連載も好評。

神戸と思えない素敵な世界
須磨アルプスを歩こう
ハイキングのお誘い
6月8日(土)誰でも参加 OK



School コミュニティ

臨時講師さん 必見! 第1回 採用をめざす学習会

今年も毎年大好評の講座を開催します。第1回は採用試験最新情報や願書作文完全攻略講座など、豊富なメニューで応援。5月6日 13:30から16:45 中央労働センター(元町)にて。

先着60名!(あと少し) 詳細は高教組 HP にて



つながりと支えあい=組合

物価高で生活は厳しい。災害で大変な目にあっている人が居る。権力と力のある一部の人だけが潤い、平和が脅かされている社会。先の見えないモヤモヤした今だからこそ、仲間と手を繋ぎ、助け合いたい。子どものために力を尽くしたい。皆さん、組合に加入しましょう!組合のメリットは目には見えにくいけれど、すべての労働者のための自覚的な活動なのだから、巡り巡って自分にも返ってきます。県下には多くの仲間が待っています。加入はお近くの分会員(おはよ配っている人)へ。もしくは下記の連絡先へ。高教組 HP からでも仮加入できます。

お待ちしております!

yokosan0124@yahoo.co.jp

障教組に加入して みなさんにしてほしい

3つのこと

- ① 組合費を払って障教組の活動を支えてほしい
- ② いろんな情報を受け取り、自分で考え判断する力をつけてほしい。
- ③ 仲間と繋がり、職場や仕事で「おかしい」と思ったら声をあげてほしい。